

平成二十九年 京都府公立高等学校入学者選抜  
前期選抜学力検査

共通学力検査

国語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～6ページにあります。
- 3 答案用紙には、受付番号を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 答案用紙の答の欄に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 5 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある【答の番号】と、答案用紙の【答の番号】とが一致するように注意しなさい。
- 6 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の答の欄の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 7 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 8 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………答の番号【1】

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なものを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。

……………答の番号【2】  
(ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 奇数を、次の(ア)～(オ)からすべて選べ。……………答の番号【3】

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3  
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号	答の番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)		【1】	【1】		
【3】	【2】		水	曜日		
ア イ ウ エ オ	ア イ ウ					
			【3】	【2】	【1】	

共通学力検査					
国語					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点					

「字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に教える。」

— 次の文章は、ちばてつやさんが書いた本の一節である。ちばてつやさんは漫画家であり、大学で漫画について教えている。この文章を読み、問(1)～(8)に答えよ。(18点)

(1)～(7)は、各段落の番号を示したものである。

1 漫画は教わるものではないと、私は思っている。そもそも私自身が漫画家に描き方を教わったことがない。① 私は生徒たちに何を教えているのか。それはひとこと言えば、プロとアマチュアの違いについてだろう。

2 ただ漫画を描くことが大好きという人なら、自分で描いて楽しければそれでいい。何をどう描けば楽しいか、それを十分に知っているのだから自分のために描けばいいのである。

3 けれど、その楽しさを、自分以外の人に伝えるにはどうしたらいいだろうか。それを考え出すと、漫画を描くことが途端に苦しくなる。せっかく面白い話を思いついても、それをどう読者に伝えるかで苦しみ悩む。読者を意識し出すと、自分の面白さ、楽しさだけでは前に進めなくなる。自分は面白いと思ってもつまらないと思う人がいるかもしれない。その人たちの興味を引き寄せるにはどうしたらいいのだろうか……。そんなふうに苦しみ出したら、その人はプロへの一歩を歩み出したことになる。逆にいえば、描いていて楽しいというだけなら、その人はアマチュアなのだ。本人が楽しいと思う作品でも、ほかの人が見てわからなければ、やはりアマチュアである。もちろんアマチュアとして漫画を描くことを楽しむ選択肢もありだ。漫画を描けるお父さんお母さんへの子供たちの「評価」は高い。

4 ②、そうした趣味の範囲では満足できない、プロになりたいというなら、読む人をワクワク、ドキドキさせるにはどうしたらいいか、そこで苦労しなくては行けない。とても苦しい作業だが、それこそが漫画家という仕事なのである。

5 読者をワクワクドキドキさせるためには、何が一番重要なのだろうか。私は、まず描く人が「根」を張ることだと思っている。「根」というのは、漫画という花を咲かせるために必要な感性やアイデア、知識、教養のことだ。その根を自分という土壌の中にいかに張り巡らせるか。それが創作の根幹だと私は思っている。漫画家になるのだからと漫画だけ読んでいては、うわべの狭い世界のことし

【くくくくく】下

か描けない。いろいろな本を読んだり、映画を観たり、伝記や資料を調べて読み解いたり、それからドラマを見つけ、人生や哲学を感じ取る心を養うことだ。私の幼いころは、我が家が厳しい「漫画禁止」ということもあったが、そのおかげで漫画以外のたくさんの本を読むことができた。そこから得た想像力や感動が私の漫画家としての根っこ、ベースになっていると思っている。

6 文学も美術も音楽も、時に思いもよらぬ創作のヒントをくれるものだ。例えばムンクの「叫び」という有名な絵がある。あの絵は観る者にさまざまな感情を喚起させる。恐れ、悲しみ、苦しみ、疎外感……といった、ムンクはあの絵で何を表現しようとしたのか。そして、なぜここまで観る者の気持ちを動かすのか。そんなことを考え、想像し、感じる気持ちを育ててほしい。音楽も、同じである。詩情あふれるさまざまな名曲を聴いて感動する気持ちが持てなければ、漫画においても情けい描写はできない。あるいは好きな詩の一節に思いを馳せ、心に残る名画をイメージしてみる。そうした作者の心の軌跡が、漫画の線の一本一本を生かす生かす、読者の心にも響いていくのだと私は思う。こんなことは漫画とは関係ないとは思わずに、好奇心のままにいろんな分野に耽溺してみることで。それが直接作品上に表れるわけではないが、たくさんの世界に根を張っていけば、創作のヒントはあらゆるところから集められる。料理を作るのでも、いろいろな材料や調味料を持っていけば、ここではオリブオイルかな、バターがいいかな、それともチーズかなと選択肢が広がるうえに、意外な隠し味で読者を楽しませることも可能だ。塩しか持っていないければ、おのずと味付けは限られてしまうだろう。

7 考えてみれば私は、この九年間、学生たちに同じことを繰り返してきたように思う。漫画に限らず、たくさんのことに「根」を張りなさいと。これはどんな仕事についてもいえることだ。「根」を張っていれば、卒業後たとえ漫画とまったく関係のない職業に就いたとしても、その仕事に必ず生きると私は思っている。

(「ちばてつやが語る『ちばてつや』による)

注 ○ベース…土台 ○ムンク…ノルウェーの画家 ○耽溺…夢中になること

(1) 本文中の ない と同じ品詞の ない が用いられているものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………答の番号【1】

- (ア) あの人はやって来ない。(イ) 雨はまだ降らない。  
(ウ) 浜には誰もいない。(エ) 風はそれほど強くない。



共通学力検査 国語 答案用紙

三						二								一								問題番号		
(5)		(4)	(3)	(2)	(1)	(7)		(6)	(5)	(4)	(3)		(2)	(1)	(8)		(7)	(6)	(5)	(4)	(3)		(2)	(1)
⊖	⊖					⊖	⊖				⊖	⊖			⊖	⊖								
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	答の番号
	ア		ア	ア	ア		ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア		ア	ア	情		ア	ア	ア	
	イ	謡	イ	イ	イ		イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ		イ	イ			イ	イ	イ	
	ウ		ウ	ウ	ウ		ウ	エ	ウ	カ	ウ	ア	ウ	カ	カ		ウ	ウ			ウ	ウ	ウ	
	エ		エ	エ	エ		エ	オ	エ	ク	エ	ウ	エ	ケ	ク		エ	エ		いた	エ	エ	エ	
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	

共通学力検査	
国語	
受付番号	
得点	

答の欄 採点欄

